

# 本郷小中学校の沿革

## (1) 本郷小学校の沿革

- 安政 7年(1860) 山代勘場雇用の教師による教授を建立寺で始める。
- 慶応 2年(1866) 山代小学校を建立寺に開設。萩藩から教師1名を派遣、勘場雇用の助教諭5名で教授する。
- 明治 6年 4月 本郷小学校を開設。西照寺に校舎を仮設する。  
9年 5月 校舎を山代勘場内に移転する。  
12年 4月 教育令発布に伴い、本郷小学校を本校とし、初・中・高等科を置き、本谷、西黒沢、波野に初・中等科のみの支校を設ける。  
18年 4月 山代小学校と改称し、28小学校区を持つ。  
20年 4月 山代小学校を改め、尋常小学校・簡易小学校の2校に分ける。36小学校区を持つ。  
23年 旧校舎を現在地に移築し、運動場を造成する。  
25年 4月 本郷尋常小学校と改め、簡易科を廃止する。  
26年 10月 本校に高等科を併設し、本郷高等尋常小学校となる。  
33年 8月 小学校令改正に伴い、本郷尋常高等小学校となる。  
35年 11月 児童の激増に伴い、校舎西方に1棟(4教室)を増築する。  
42年 7月 校舎が老朽化したので、校舎を新築する。
- 大正 10年 10月 運動場を拡張し、600坪とする。
- 昭和 3年 4月 高等科に手工科の設置に伴い、手工室を増築する。  
5年 4月 校庭東に井戸を掘る。  
16年 2月 国民学校令の発令に伴い、本郷国民学校となる。  
22年 5月 教育基本法・学校教育法の公布に伴い、新制の本郷小学校となる。  
25年 1月 ピアノ1台を購入する。  
27年 12月 木造二階建ての新校舎落成式を行う。(12日)  
28年 3月 宿直室(6畳2間、台所つき)を新設する。  
29年 1月 家庭科教室、給食調理室及び便所を新設する。  
36年 5月 校舎西側に、築山・池を設ける。  
37年 3月 校舎の周囲に、高さ2メートルの金網を設ける。  
40年 11月 各教室、職員室に石油ストーブを設置する。  
41年 3月 校旗を制定する。100人編制の鼓笛隊を編成する。  
44年 3月 校歌を制定する。校舎西側に井戸を新しく掘る。  
45年 4月 西黒沢小学校を統合する。  
46年 1月 完全給食を始める。(11日)  
47年 8月 倉庫及び体育倉庫をプレハブで建てる。村民プールが新設される。  
48年 3月 グランドピアノ1台を新規に購入する。  
児童机、腰掛けを鉄製にする。(村内小・中学校)  
PTAの寄贈による「岩石標本園」を新設する。
- 49年 3月 学校図書を40万円一括購入する。ジャングルジムを購入する。  
4月 養護教諭が新しく配置される。  
11月 学校栄養士が新しく配置される。
- 50年 4月 県費の事務職員(主事)が新しく配置される。  
11月 各教室にテレビ放送設備が完成する。
- 51年 小・中学校合同体育館(903㎡)の建設が始まる。

- 52年 3月 創立110周年記念行事を実施し、「母校のあゆみ」を出版する。  
正門に鉄製の扉を新設する。体育館に演台を、放送室に白黒のテレビカメラを購入する。
- 53年 10月 児童用雨傘100本を新規購入する。鉄製書架を購入する。  
石油ストーブを全部取り替える。電話が自動化される。
- 54年 1月 校舎内をカラーペイントで全塗装し、老朽化した正面玄関を改装する。  
雨漏りのひどい家庭科室の屋根を切り妻にし、瓦を取り替える。  
山口県貯蓄推進委員会の「金銭教育」研究指定校となる。
- 55年 10月 大蔵大臣・日本銀行総裁の「優良こども銀行」全国表彰を受ける。  
カラービデオカセット・カメラ一式を購入する。  
校舎の屋根瓦の痛みがひどく危険なため、しころ部分をトタンぶきにする。
- 56年 7月 8mmフィルム映写装置を購入し、体育指導に役立てる。  
理科教具格納スチール戸棚5台を購入する。
- 57年 児童用ロッカー6台、教室事務机6台、保管庫3台、収納庫1台を購入する。
- 59年 1月 学校安全優良賞学校として表彰を受ける。
- 60年 3月 緑の少年隊を結成する。  
8月 新校舎建築起工式を行う。
- 61年 3月 新校舎落成式を行う。  
4月 県教育委員会から同和教育研究協力校として2カ年の指定を受ける。
- 62年 4月 山村留学第1期生17名を迎える。  
8月 PTA奉仕作業で、砂場・不燃物置き場の新設、給食物資置き場のステンレス張り等を行う。
- 63年 11月 優良こども銀行として山口県貯蓄推進委員会会長賞を受ける。  
2月 県広報コンクールにおいて教育長表彰を受ける。  
4月 初任者研修試行実施校として、県教育委員会の指定を受ける。  
8月 PTA奉仕作業で運動場周囲の金網を全面張り替える。(93m)
- 11月 花いっぱい運動表彰団体として激励訪問を受ける。  
山村留学現地調査で文部省の訪問を受ける。(11月、2月)
- 平成 元年 3月 卒業記念として小動物舎「ことりのくに」を作る。  
5月 こども郵便局が郵政省貯金局長賞を受ける。  
9月 準健康優良学校として県教育委員会教育長賞を受ける。  
10月 本郷村山村留学センターが学校の寄宿舎となる。  
11月 花いっぱい運動表彰団体として激励賞を受ける。  
優良PTA団体として文部大臣表彰を受賞し、記念碑を建立する。
- 2年 2月 県広報コンクールで、県PTA連合会長から準推奨賞を受ける。  
3月 体育倉庫裏、学級園周囲の金網を新設する。(18m)
- 10月 岩国市の中村光代氏よりピアノとパソコンの寄贈を受ける。  
花いっぱい運動表彰団体として優良賞を受ける。
- 3年 2月 県広報コンクールで、県PTA連合会長から準推奨賞を受ける。  
4月 学童・生徒のボランティア活動の普及事業協力校の指定を受ける。  
5月 県知事より米飯給食普及推進功労賞及び感謝状を受ける。  
10月 学校給食優良校として県教育長表彰を受ける。
- 4年 3月 卒業記念として、図書室に有名絵画(複製)を掲げる。  
12月 橋本組(宇塚)よりカラーテレビの寄贈を受ける。

- 5年 3月 卒業記念として、校舎中央に屋外時計を設置する。  
郷土学習の一環として取り組んでいた「本郷かるた」が完成する。
- 5月 本郷交通安全協会より交通事故防止活動の取り組みに対して感謝状を受ける。
- 6年 3月 体育倉庫（10㎡）を運動場に新設する。  
卒業記念として、東階段2階のおどり場に掲示板を設置する。
- 4月 文部省より「体力づくり」推進校の指定を受ける。（の3年間）
- 11月 向井千秋さんと飛行した「宇宙メダカ」の二世が3匹届き、飼育を開始する。
- 7年 2月 橋本組（宇塚）より図書の寄贈を受け、橋本文庫と命名する。
- 10月 こども郵便局が大蔵大臣・日本銀行総裁賞を受ける。
- 8年 10月 文部省・村教委指定「体力づくり推進校研究発表会」を実施する。
- 9年 2月 松山和興（アトランタオリンピックヨット競技銀メダリストのコーチ）より10万円の商品券の寄贈を受け、一輪車・けん玉等を購入する。
- 5月 “わくわくえいごタイム”開始。（講師：グレッグ・アレン氏）
- 6月 児童の服装等検討委員会設置（10年3月解散）
- 11月 全国学校保健体育優良校表彰受賞。インターネット接続。
- 10年 4月 県より「豊かな心育成事業」（平成10年度）の地域指定を受ける。
- 11年 4月 県より「チャレンジ体験学習先行モデル支援事業」（～平成12年度）の指定を受ける。
- 5月 校内LAN構築。
- 12年 3月 運動場フェンスの一部を補修する。給食室床面を補修する。  
本校の卒業生（匿名）の寄付により校旗を新調する。
- 13年 3月 本郷小学校プールが完成する。
- 4月 本谷小学校の休校に伴い、本谷地区の児童の通学が始まる。（スクールバスの運行開始。）  
「本郷村体験学習推進会議」の指定による体験学習活動が始まる。
- 6月 本郷小学校プール竣工式・記念水泳教室を実施。
- 7月 校内LANの一部を無線LANに拡張する。
- 14年 4月 本校の寄宿舎である山村留学センターに中学生の留学が認められる。  
学校評議員制度が始まる。  
英会話学習普及事業がスタートする。
- 5月 本郷村総合防災訓練に参加する。
- 15年 3月 正面玄関庇補修工事を行う。
- 8月 給食調理室のフードを補修する。
- 16年 4月 新しい山村留学センターが完成する。  
県より「豊かな体験活動推進事業」の地域指定を受ける。
- 8月 鶏小屋排水路を補修する。  
PTA作業により、砂場の木枠の取り替える。
- 17年 3月 給食休憩室の壁等を補修する。
- 4月 県より「豊かな体験活動推進事業」の地域指定を受ける。  
県より「我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業」の指定を受ける。
- 5月 地域イントラネットの配線工事が始まる。

- 18年 2月 図書室床絨毯張り替え、掲示板の補修をする。  
 3月 市町村合併により、岩国市立本郷小学校となる。  
 7月 裏山崩壊による補修工事が行われる。  
 8月 本郷山村留学センター20周年記念式典開催
- 19年 3月 特別支援学級設置に基づく教室改修工事が始まる。  
 図書室、視聴覚教室の移動。  
 4月 特別支援学級「ひまわり学級」設置。
- 20年 4月 すべり台新設する。
- 21年 3月 校庭東側フェンス取替。  
 6月 裏山補修工事再開。  
 11月 雲梯撤去。  
 12月 防火扉修理・雲梯新設。
- 22年 1月 ブランコ・登り棒撤去。  
 2月 ブランコ新設。
- 23年 3月 本郷小学校裏山補修工事完了。  
 4月 波野小学校の休校に伴い、波野地区の児童の通学が始まる。(スクールバスの運行再開。)  
 11月 放課後教室開設
- 24年 4月 1・2年複式学級開始  
 6月 登り棒新設
- 25年 4月 3・4年複式学級開始  
 6月 学校運営協議会発足(小・中合同)  
 10月 シーソー(運動場遊具)設置
- 26年 1月 山口県学校保健・学校安全表彰(学校安全の部)優良校
- 27年 2月 本郷小中合同体育館耐震工事完了
- 27年 8月 世界スカウトジャンボリー地域プログラム訪問  
 普通教室 エアコン設置  
 廊下・多目的ホール床張替
- 28年 7月 岩国市小中一貫教育推進事業のモデル校(施設隣接型)に指定される。  
 11月 創立150周年記念学習発表会を実施し、PTAより掛け時計の寄贈を受ける。
- 30年 4月 校長・事務主事が小中兼務となる。  
 11月 やまぐち小中一貫教育実践発表 in 和木・岩国での実践発表  
 (岩国市小中一貫教育推進事業モデル校最終年度)
- 31年 4月 養護教諭が小中兼務となる。  
 岩国地域へき地教育振興会指定研究校に指定される。
- 令和 元年 11月 岩国地域へき地・複式教育秋季研修会開催。(1年次)
- 令和 2年 1月 小学校中学校の職員室が中学校職員室に統合される。

## (2) 本郷中学校の沿革

- 昭和22年 5月 1日 学制改革により本郷村立本郷中学校開設  
中村静男校長 本郷村立本郷中学校初代校長として就任
- 23年 4月 1日 中村静男校長 県立岩国商業高等学校へ転任  
後任として河山小学校より伊藤貞夫校長就任
- 25年 3月 1日 校歌制定  
9月 1日 新校舎落成
- 27年 4月 1日 伊藤貞夫校長 藤河中学校へ転任  
後任として本郷小学校より岡田 豊校長就任
- 28年 8月14日 講堂落成
- 31年 4月 1日 岡田 豊校長定年退職  
後任として南桑中学校より谷本春雄校長就任
- 32年 8月20日 運動場拡張整備
- 33年 4月 1日 谷本春雄校長 河山中学校へ転任  
後任として広瀬中学校より浜田恒土校長就任  
6月15日 運動場全面金網完成
- 37年 4月 1日 浜田恒土校長 南桑中学校へ転任  
後任として西黒沢小学校より陶山 長校長就任  
12月20日 給食設備完成
- 39年 4月 1日 陶山 長校長 秋穂小学校へ転任  
後任として玖珂教育事務所より時光 剛校長就任
- 40年 11月22日 昭和40年度全日本学校植林コンクール入選（中学校の部）表彰  
を受ける
- 42年 4月 1日 時光 剛校長 玖珂教育事務所へ転任  
後任として柳井市教育委員会より井上文夫校長就任
- 43年 5月 2日 山口県研究指定校に決定（学習指導43・44年度継続研究）
- 44年 4月11日 山口県研究指定校研究発表会（学習指導）  
23日 校舎前面金網完成
- 45年 4月 1日 井上文夫校長 岩国市教育委員会へ転任  
後任として柳井市教育委員会より五嶋竹夫校長就任
- 46年 1月 8日 給食室を改善し、11日より完全給食実施  
2月 1日 西黒沢生徒スクールバス通学開始  
3月18日 体育館増改築及び椅子250脚購入  
9月 1日 放送施設新設及び各教室にテレビ設置
- 48年 2月27日 運動場金網張り替え  
4月 1日 五嶋竹夫校長 玖珂教育事務所へ転任  
後任として通津中学校より砂田 正校長就任  
9月24日 給食室及び技術工作室拡張・修理・産振法により設備充実
- 50年 8月24日 講堂裏通路拡張工事、自転車置場移転  
10月20日  
グラウンド北側排水溝鉄格子ふた取付け

51年 4月 1日

砂田 正校長 河内中学校へ転任

後任として熊毛教育事務所より海田嘉憲校長就任

52年 2月 20日

本郷小110年、本郷中30年記念式典を挙行、記念事業として

記念誌の発行、記念図書の購入、玄関前の緑化

3月24日小・中合同体育館建設のため、旧体育館（木造）、技術教室を解体する

12月15日 技術教室、渡り廊下完成

53年 9月 1日 自転車置場完成

54年 3月 23日 小・中合同体育館完成

4月 1日 海田嘉憲校長 神西小学校へ転任

後任として下松市教育委員会より中山哲郎校長就任

8月10日 グラウンド防球ネット（H7m）設置

昭和55年 4月 3日 中山哲郎校長 余田中学校へ転任

後任として山口県教育委員会より河村文人校長就任

5月 1日 山口県研究指定校（同和教育55・56年継続研究）に決定

56年 4月 27日 本郷中学校体育・文化後援会発足

11月25日 山口県研究指定校研究発表大会（同和教育）

57年 8月 31日 全教室南側窓アルミサッシへ取り替え完了

9月21日 山口県社会福祉協議会からボランティア活動普及協力校の指定を受ける

58年 4月 1日 河村文人校長 玖珂中学校へ転任

後任として柳井南中学校より貞永保太郎校長就任

7月 7日 本郷中学校育友会体育・文化後援会発足

59年 8月 19日 校舎裏日本式庭園完成

9月 4日 保健室移転完成

60年 6月 20日 校舎廊下照明改善

61年 4月 1日 貞永保太郎校長 柳北小学校へ転任

後任として錦中学校より船津健二校長就任

8月25日 自転車置場前舗装、校舎1・2階廊下改修

62年 9月 20日 校舎階段屋根瓦葺替え、校舎裏物置改築

63年 3月 30日 グラウンド側溝グレーチング取付け、ソフトボール部室床張替

10月20日 グラウンドフェンス取替え、理科室暗幕設置、普通教室へテレビ設置、自動印刷機設置、給食用回転釜設置

平成元年 4月 1日 船津健二校長 柱野中学校へ転任

後任として周東中学校より原田 明校長就任

7月17日 視聴覚教室暗幕設置

12月21日 体育館への階段修理及び囲い設置

- 2年 5月 1日 山口県教育委員会指定校（同和教育2・3年度）に決定  
11月14日 グランドピアノ寄贈
- 3年 2月 5日 パーソナルコンピュータ設置  
2月22日 学校図書寄贈  
9月27日 本郷小中合同体育館床改修  
10月24日 山口県研究指定校研究発表大会（同和教育）  
12月19日 男子便所改修
- 4年 4月 1日 原田 明校長 周東中学校へ転任  
後任として光井中学校より中尾一眞校長就任
- 5年 3月26日 校旗寄贈  
28日 新校舎落成
- 6年11月24日 視聴覚室へコンピュータ11台設置始動式
- 7年 4月 1日 中尾一眞校長 上関中学校へ転任  
後任として沖浦中学校より藤本満登校長就任
- 9年 4月 1日 藤本満登校長 河内中学校へ転任  
後任として和木中学校より石川 厚校長就任  
6月13日 給食下処理場設置  
22日 創立50周年記念式典挙行
- 10年 9月18日 体育館通路屋根取り付け
- 10年10月25日 ソフトボール部長い歴史に幕。ソフトテニス部として再スタート
- 11年 4月 1日 山口県チャレンジ体験学習先行モデル支援事業の指定を受ける  
5月29日 テニスコート2面完成
- 12年 3月 2日 アップライトピアノ寄贈  
4月 1日 石川 厚校長 東中学校へ転任  
後任として岐陽中学校より近藤泰正校長就任  
5月25日 コンピュータ新機種へ変更
- 13年 5月 2日 コンピュータ新機種4台追加
- 14年 4月 1日 近藤泰正校長 徳山市教育委員会へ転任  
後任として山口県教育庁指導課より河村 崇校長就任  
8日 山村留学センターから3人の留学生入学
- 平成14年 4月18日 記念植樹  
10月 4日 航空写真撮影
- 15年 4月 8日 山村留学センターから2名の留学生入学  
6月15日 流域ネット発表会 臨時演劇部出演（錦ふるさとセンター）  
9月13日 全国源流シンポジウム 臨時演劇部出演（六日市）  
10月11日 山口いきいきエコフェアー 臨時演劇部出演（山口市）
- 16年 4月 1日 河村 崇校長 県教育委員会人権教育課へ転任  
後任として長尾健二校長 岩国市立御庄中学校より就任  
4月 8日 山村留学センターから4名の留学生入学  
10月26日 教育事務所学校訪問 国語力向上モデル事業発表会
- 17年 6月11日 よい歯のコンクール（ハーモニーみわ）優良賞、特別賞

9月 6日 台風14号接近のため臨時休業  
 18年 3月20日 本郷村岩国市と合併 岩国市立本郷中学校と改称  
 4月10日 山村留学センターから2名の留学生入学  
 6月12日 大分県南部を震源とする地震発生 被害なし  
 19年 3月 3日 学校林視察確認調査  
 4月 2日 長尾健二校長 岩国市立通津中学校へ転任  
 後任として時光裕子校長 周防大島町立日良居中学校より就任  
 4月 9日 山村留学センターから1名の留学生入学  
 4月24日 全国学力調査(3年生) 8名  
 6月12日 大分県南部を震源とする地震発生 被害なし  
 11月 5日～9日 2年生職場体験学習(キャリアスタートウィーク)  
 文部科学省主催事業  
 20年 1月29日 PTA広報委員会発行の「本郷育友」 県コンクール優秀賞  
 2月21日 開校60周年記念講演会  
 4月 8日 山村留学センターから1名の留学生入学  
 21年 1月30日 PTA広報委員会発行の「本郷育友」 県コンクール優秀賞  
 2月 校歌額の新表装(PTA文化体育後援会より寄贈)  
 4月 8日 山村留学センターから2名の留学生入学  
 5月 新型インフルエンザ流行により修学旅行延期(8月に実施)  
 10月 8日 音楽室カーペット貼り替え  
 22年 1月 電子黒板、大型デジタルテレビ設置  
 1月18日 PTA広報委員会発行の「本郷育友」 県コンクール優良賞  
 4月 1日 時光裕子校長 柳井市立神西小学校へ転任  
 後任として寶川昌弘校長 防府市立桑山中学校より就任  
 4月 8日 山村留学センターから2名の留学生入学  
 23年 1月13日 学校安全優良校表彰  
 3月11日 東日本大震災発生 東日本に甚大な被害  
 4月 8日 山村留学センターから3名の留学生入学  
 5月 岩国市教育委員会コンピュータネットワークC4TH導入  
 6月 本郷小中合同体育館ステージ暗幕修繕  
 24年 2月 2日 平成23年度後期岩国市児童生徒善行表彰(生徒3名)  
 4月 9日 山村留学センターから1名の留学生入学  
 11月20日 生きる力を育む実践的調査研究校発表会(本郷小・中)  
 25年 4月 1日 寶川昌弘校長、山口市立宮野中学校へ転任  
 後任として、原田孝治校長、周南市立住吉中学校より就任  
 8月 空調設備工事(普通教室3、視聴覚室、校長室)  
 27年 3月 本郷小中学校合同体育館耐震工事完了  
 上水道へ切り替え  
 4月 8日 山村留学センターから2名の留学生入学  
 28年 4月 1日 原田孝治校長、御退職  
 後任として、藤田修校長、美祢市立豊田前中学校より就任  
 岩国市小中一貫教育推進事業施設隣接型モデル校指定



4月 8日 山村留学センターから4名の留学生入学  
29年 4月 1日 岩国市小中一貫教育推進事業施設隣接型モデル校指定(2年次)  
4月10日 山村留学センターから2名の留学生入学  
平成30年 4月 1日 藤田 修校長、宇部市立厚南中学校へ転任  
後任として、片山京子校長、柳井市立柳井中学校より就任、本郷小学校との兼務なる  
塩田事務主事が中学校兼務となる  
岩国市小中一貫教育推進事業施設隣接型モデル校指定(3年次)  
4月 9日 山村留学センターから2名の留学生入学  
11月27日 「やまぐち小中一貫教育実践発表会 in 和木・岩国」 施設隣接型モデル校  
発表  
31年 4月 8日 山村留学センターから1名の留学生入学  
令和元年 11月29日 岩国地域へき地教育振興会指定校研究発表会(65名参加)  
3月 3日 臨時休校(新型コロナウイルス感染拡大防止のため26日まで)  
3月19日 合同体育館に校歌額の新設(贈:尼崎栄吉様)  
3月26日 特別教室空調機(エアコン)設置工事完了

### (3) 本郷小中学校の沿革

2年 4月 本郷小中学校(小中一貫教育校)開校式  
5・6年複式学級開始  
岩国地域へき地教育振興会指定研究校2年目を迎える。  
8月 校舎前舗装工事完了